



■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう	
ねらい (学習目標)	1 緊急地震速報についての基礎的な知識を知る。 2 地震による物の動き方を知り、緊急地震速報を聞いた時の対応の仕方を考える。	
対象学年	小学部（「指導上の留意点」の表現を変更することで中学部にも応用可）	
教科・イベント等	事前学習2（総合的な学習・特別活動）	
学習形態	クラス学習（復習）	計20分～45分
準備	アンケート（「地震アンケート」）、退避行動イラスト、ホワイトボード・ペン、 訓練用音源（※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照）など	

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点（主な発問と子どもへの援助）
導入（3分）	
1. 事前学習を振り返る 1-1. 緊急地震速報についての基礎的な仕組みを確認する 学習のポイント1「強い揺れが到達するまでの猶予時間を理解し、短い時間で身を守る行動をとらなければならないことをイメージする。」	○事前学習でのポイントを確認する 「前の時間では、緊急地震速報は何かを学習しました。緊急地震速報は、地震による強い揺れが来る前に『地震です、気を付けてください!』と知らせてくれるチャイム音でしたね。」 ※どんな音だったか等、何人かに発表させる。 「緊急地震速報を聞いてから、強い揺れが来るまでどれくらいの時間があると思いますか。」 ※何人かに発表させる。又は3択クイズにして手をあげさせる 「地震が起きた場所（震源地といいます）によって大きな揺れがくる時間は変わってきます。数秒から数十秒しかありません。だから、自分で自分を守ることが必要になります。」 ※速報が間に合わない時もあることを理解する。
展開1（16分）	
2. 地震の揺れと緊急地震速報 2-1. 地震による物の動き方を確認する 学習のポイント1「ものは「落ちる」「倒れる」「移動する」ことがあること確認する。」	「次に『一人で行動しているときにも地震は起こる』ということについてみんなで考えてみましょう。学校にいと、トイレや体育、音楽、図工室などへの移動、係活動のときなど教室以外の場所にいることがあります。では、教室にいるとき、地震によって起こる危険は何かありますか。」 ※何人かに発表させる。 ※学校以外を具体的に例示してイメージさせる。 「教室以外の場所においても、物が落ちてこない・倒れてこない・移動してこない場所を探して、身を守ることが大切です。一人でいても、このことを思い出して行動できるようにしましょう。」
2-2. 緊急地震速報を聞いた時の対応の仕方を確認する 学習のポイント1「その場に応じた身の守り方を確認する。」	「緊急地震速報のチャイム音を聞いたり、地震の強い揺れを感じた時、どうすれば自分の身を守ることができるのかを確認しましょう。教室にいた場合には、どのように身を守りますか」 ※何人かに発表させる。 ※教室以外の場所を提示して発言させる。 「では、歯磨きの時間や次の授業の準備をしている時を想定して、実際に身を守る行動を練習してみましょう。自分のロッカーのところまで移



	<p>動してください。身を守る行動をとってみましょう」 ※児童を机から移動させる。 ※机がない場合「だんごむし」のポーズで身を守ることを理解させる。</p> <p>○校内をまわって学習する 45分</p> <p>「次に廊下へ移動します。廊下を歩いているときに地震があるかもしれません。教室との違い（机がないこと）は何でしょうか。」 ※何人かに発表させる。</p> <p>「では、今いる場所で身を守る行動をしてみましょう。学習したことを思い出して、自分で考えて行動してください。」 ※児童の行動を観察する。指示を出さない。</p> <p>「では、みなさんがいる場所は安全かどうか確認してみましょう。周りに危ない物がありますか。」 ※児童は周囲の物を触って確かめる。 ※落ちそうな物からは離れているから安全だという意見が出るかもしれない。そのときは、大きな揺れでは思っている以上に物が落ちたり横から倒れたりすることを確認する。</p> <p><u>◎「学校探検」として、いろいろな場所へ移動しながら地震による危険を確認し、その場で身を守る行動と振り返りは効果的な学習となる。</u></p>
<p>まとめ（1分）</p>	
<p>4. 振り返り</p> <p>学習のポイント1「自分の命は自分で守るという意識をもつ。」</p>	<p>「この時間、緊急地震速報と、自分で自分の身を守ることについて復習しました。まず頭を守ることが大事です。机があれば机の下にすぐ潜る、できるだけ物の落ちてこない場所でダンゴムシのポーズができるようにしましょう。ただし、机の下に潜るときは普段から角はどこにあるか等の確認も必要です。また、学校内をまわって危険な場所やその場での身の守り方も学習できました。自宅でも同じように確認しておきましょう。地震の際に大事なことです。自分の身は自分で守る意識を持って行動しましょう。」</p>

■評価ポイント

1 緊急地震速報の基礎的な仕組みを理解しているか
2 強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
3 自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

■特記事項

・ 中学部や高等部では、地震や緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる
・ 中学部以上では、グループワークによって個々の意見を共有すると効果的
・ 効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する